

夏季連盟レース優勝者レポート
慶應逗葉ヨットクラブ JPN-3141 石橋卓巳

8月20日～23日にかけて行われた夏季連盟レースのレポートを書かせていただきます。

4日間の中で前半2日は南風の、後半2日は北～東風のレースとなり、風も安定して吹いてくれたおかげで10レースも出来てよかったと思います。今レガッタは、風速・風向きさまざまなコンディションがあり、非常に面白みのある展開が多かったのではないのでしょうか。

個人的には、レースを重ねていく度にすべり・タクティクス・ストラテジーを向上させられた事が今回の優勝に繋がったと思います。

レポートは今回も、自分が意識した事をレグ毎に分けて書きたいと思います。

スタート:今レガッタでは、スタートは全て上スタをしました。考えとしてはファーストタックのしやすさ、スタートのしやすさ、またラインが風向とずれていることが少なかったため上スタでいきました。ただ、今後のレースではもちろん下スタが出来る技術が必要になってくるので、そこが秋の練習課題のひとつです。

また、4日目第1レースでは沖からの潮流でだんだんラインに流されて、フリート全体の動き出しが早くなっていました。自分もその流れに飲まれてしまったのですが、潮流の影響がある場合はスタート・レイライン・上サ下においてはきちんとした対応が必要になってくるでしょう。

上り:上レグでは、基本的には自分のストラテジー通りに走るのが大事で、「とりあえずタック」はしませんでした。1上では、反対フリート・ブロー・振れが大まかなチェックポイントでした。南風の時はある程度安定した風が吹くので反対フリートを重視していましたが、北風の中ではブローへの意識を高くしました。チェックポイント全体のバランスをどう割り振るかに気を使ったレグの組み立て方をしていました。

2上・3上では前後のフリート状況を考え、カバーかチャレンジかを考えました。

上りレグを引く上で大事なものは、情報を「察知」し、その情報から起こりうる事態の「予測」、そしてタックをするかしないかという「決断」までのプロセスの正確性とスピードだと思います。経験が必要な部分は多分にありますが、こういった能力を磨くと上りのレグ引きは楽しくなるでしょう。

上サ下:リーチングレグでは、キーブインサイドを徹底しました。あとは風に合わせた上し下しです。あとは、ブロードリーチで上してくる後続艇に声をかける事などです。

上下:下りで意識した事は振れとポジションです。振れによるゲインとロスはやはり大きいので、スキッパーは常に意識するポイントだと思います。ポジションは、権利関係を最大限に活かせるよう

に自艇を動かすようにしていました。

簡単ではありますが、今レガッタについてまとめてみました。まとまりがない部分ではありますが、このレポートを読んだ人に少しでも有益なものになれば幸いです。

最後に、今年の夏合宿は多くの方の援助があって運営をしていく事が出来ました。OBの方や他クラブの方も本当にありがとうございました。

また、レース運営の4年生の方々と1年生、ありがとうございました。

そして、現役の皆さんとの逗葉の仲間たちは、あと半年一緒に頑張りましょう。